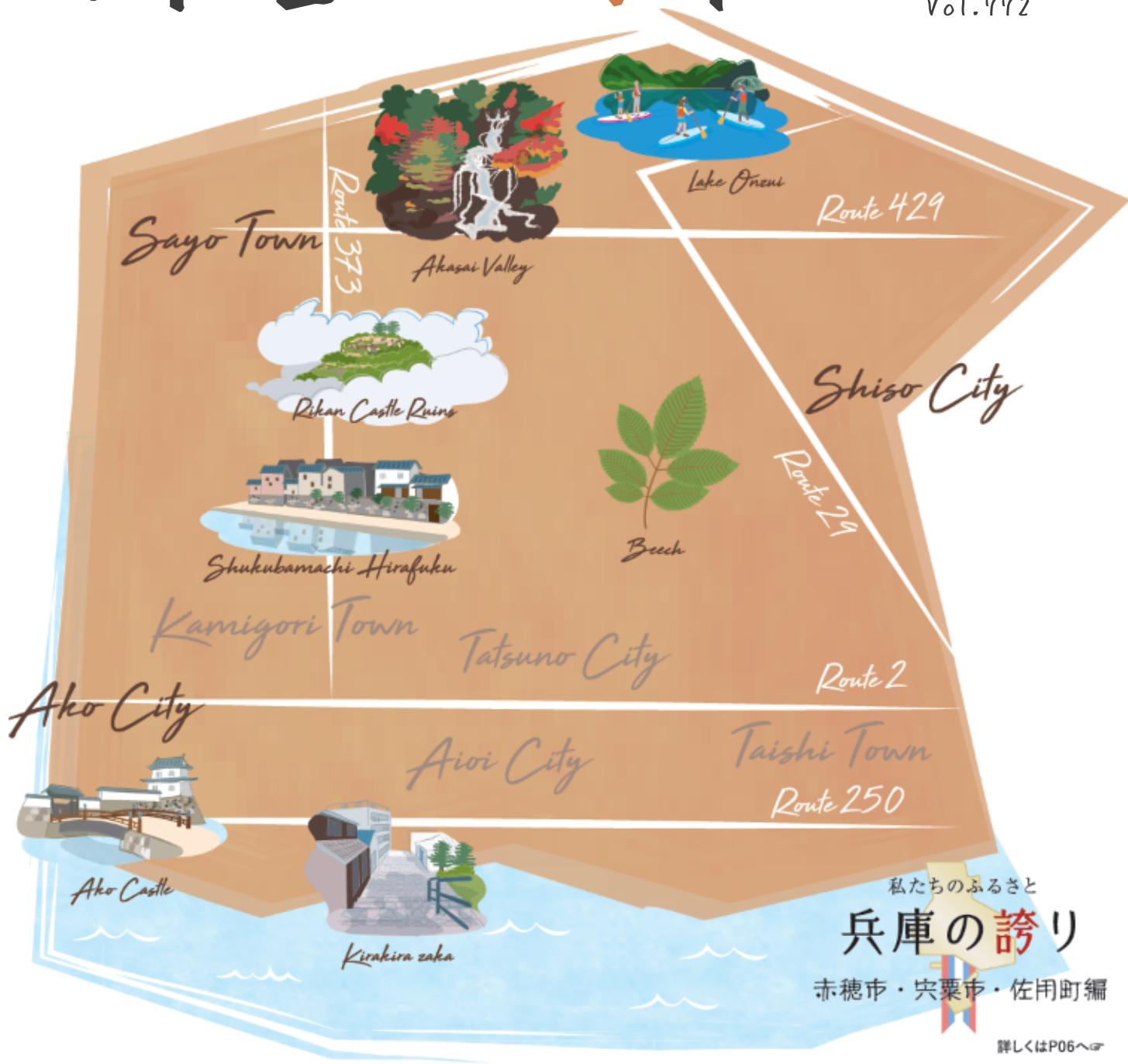


保証時報

2025

11

Vol.772



私たちのふるさと

兵庫の誇り

赤穂市・宍粟市・佐用町編

詳しくはP06へ

P 01 信用保証協会ニュース

- 「創業フェアひょうご2025&ビジネスサロン」を開催しました
- 「米国自動車関税措置等に伴う特別相談窓口」の相談フォームを開設しています
- 「中小企業者のための省エネ・省CO₂セミナー」を開催しました
- 日本政策金融公庫と共同勉強会を開催しました
- 景気動向調査の結果をお知らせします

P 05 金融機関インタビュー

P 07 未来にチャレンジ ひょうごビジネスFile

株式会社カワグチマック工業

P 06 私たちのふるさと 兵庫の誇り ひょうご芸術散歩

P 09 保証状況

 **兵庫県信用保証協会**
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN
www.hosyokyokai-hyogo.or.jp

LINE、X、Instagramによる情報発信をしています!!

右のQRコードをお読みいただき、お友達登録やフォローをお願いします。



LINE



X



Instagram

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

再エネ100宣言
RE Action

信用保証協会は、中小企業のみなさまが事業資金の融資を受けられる時に、公的な立場でバックアップいたします。

「創業フェアひょうご2025&ビジネスサロン」を開催しました

10月7日、アンカー神戸で「創業フェアひょうご2025&ビジネスサロン」を開催しました。

本イベントでは、創業予定の方や創業後概ね5年未満の方を対象とし、中小企業診断士を講師とした創業ミニセミナー、先輩創業者によるトークセッション、参加者同士の交流を行うビジネスサロン、専門家や支援機関への個別相談などを実施しました。

創業ミニセミナー

中小企業診断士 志水 功行さんから、創業期に注意すべき点や、事業経営に必要な基本スキルなどについて、説明をいただきました。

参加者の声 —

- 創業前に知っておきたかった…と思える有益な情報を得ることができました。
- 志水先生のお話をもっと聞きたくなりました。



トークセッション

先輩経営者である『Body make studio you&Me 雨盛 佑美さん』『C-farm(同) 稲垣 将幸さん』『Gelateria Monction 黒木 大智さん』によるトークセッションを行い、実際の経験をもとにした創業時の苦労や、創業に役立つ情報などについて、お話しいただきました。



参加者の声 —

- 不安を抱える中で皆さんが前向きに事業を進められていて、不安を感じるのは自分だけじゃないことが分かって、ほっとしました。
- 皆さんの言葉に共感し、自分の事業を見直すヒントを得られました。

動画配信

当協会の公式YouTubeチャンネルにおいて、トークセッションの様子を撮影した動画を公開しております。

当日参加できなかった方やもう一度見たい方は、ぜひご覧ください。



ビジネスサロン

参加者が自社商品・サービスを紹介するPR会、トークセッション出演者、過去の創業イベント出演者を含めた交流会、取引先獲得等を目的とした参加者同士のマッチングを行いました。



参加者の声 —

- PR会では、登壇された方の熱意が伝わってきました。
- 交流会では、同じような課題を共有できたことが有意義でした。

個別相談会

中小企業診断士、税理士等の専門家及び支援機関による個別の相談会を実施し、参加者に対して専門的なアドバイスをを行いました。

相談内容 —

創業計画書の策定方法、創業資金の調達方法、補助金に関すること、有効な広告宣伝方法など



たくさんのご来場ありがとうございました

創業準備相談窓口 のご案内

当協会では、「創業準備相談窓口」を「経営支援部 再生発展支援課」内に設置しています。創業計画書策定や資金調達、外部専門家派遣など、創業をお考えの皆さまの課題解決や資金調達に関する相談にお応えします。

相談をご希望の方は以下の電話番号またはEメールにてご相談ください。

tel 078-393-3912



News

02

「米国自動車関税措置等に伴う特別相談窓口」の相談フォームを開設しています

当協会では、「米国自動車関税措置等に伴う特別相談窓口」を開設し、米国自動車関税措置等により、経営に支障が生じる可能性がある事業者の皆さまからの資金繰り等に関するご相談をお受けしています。

窓口は各地域を担当する事務所・支所となりますが、休日や夜間などの営業時間外でもご相談をお受けできるよう、当協会のホームページに米国自動車関税措置等に関する相談フォームを開設しております。相談をご希望の方は、QRコードから相談フォームにアクセスし、相談内容等をご記入ください。

ご相談に対する回答は翌営業日以降に担当部署の職員から連絡をさせていただきます。



相談フォームは
こちら

News

03

「中小企業者のための省エネ・省CO₂セミナー」を開催しました

10月16日、兵庫県信用組合、兵庫県中小企業団体中央会、当協会の三者は「中小企業・小規模事業者の経営力向上、経営改善支援に関する協定書」による連携に基づき、「中小企業者のための省エネ・省CO₂セミナー」を共同開催しました。

当日は、一般財団法人省エネルギーセンター近畿支部 エネルギー使用合理化専門員 宇野 孝氏、一般社団法人環境共創イニシアチブ 主務 豊田 泰己氏、兵庫県環境部環境政策課 副課長兼温暖化対策班長 加茂 慎氏を講師に迎え、参加者が省エネの最新動向や進め方、実際に省エネ・脱炭素化に取り組んだ企業事例や補助金情報等を学びました。



News

04

日本政策金融公庫と共同勉強会を開催しました



10月2日、日本政策金融公庫と当協会は、連携して事業者支援を行い地域経済の活性化に貢献するため、「業務連携・協力に関する覚書」に基づき、「業務連携に係る情報交換及び共同勉強会」を開催しました。

当日は、日本政策金融公庫の職員11名、当協会の職員13名が出席。融資・保証の制度や経営支援に関する取り組みについて情報交換を行い、事業者への支援に協力して取り組んでいくことを確認しました。

今回の勉強会を契機に、両者の連携体制をこれまで以上に強化し、厳しい経営環境下で努力する事業者の資金繰りや経営改善、さらには創業、事業承継への支援に積極的に取り組んでまいります。

景気動向調査の結果をお知らせします ～景況感は持ち直しつつある～

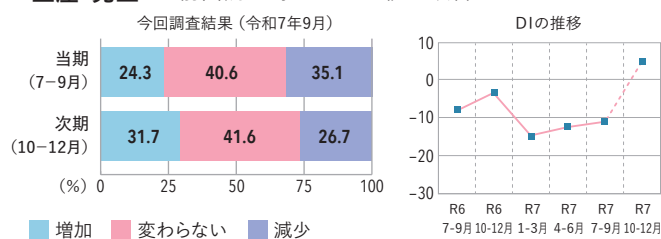
令和7年9月の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

調査要領

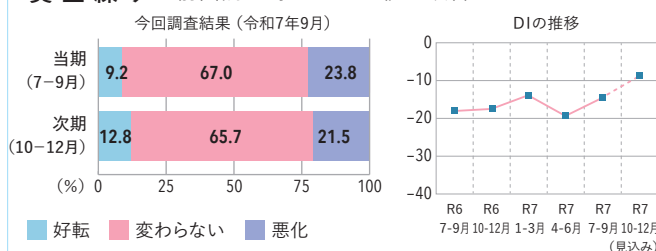
- ① 調査時点：令和7年9月 ② 調査方法：無記名、Web方式
 ③ 調査対象：3,000事業者 ④ 有効回答数：382(回答率12.7%)
 ※ 本調査は四半期ごとに当協会の保証利用企業を対象に実施しています。

現在と今後の景況、借入難易感について

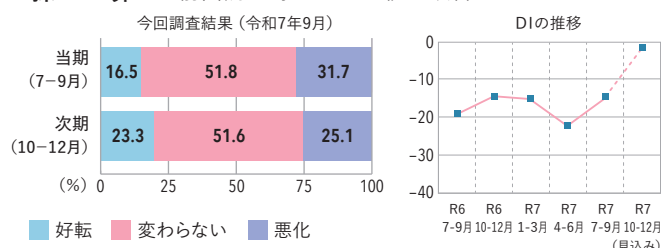
生産・売上 前回調査時に比べDI値は改善



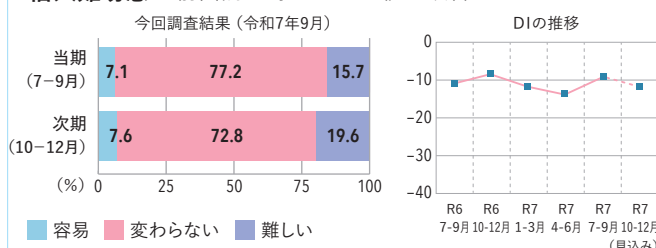
資金繰り 前回調査時に比べDI値は改善



採算 前回調査時に比べDI値は改善

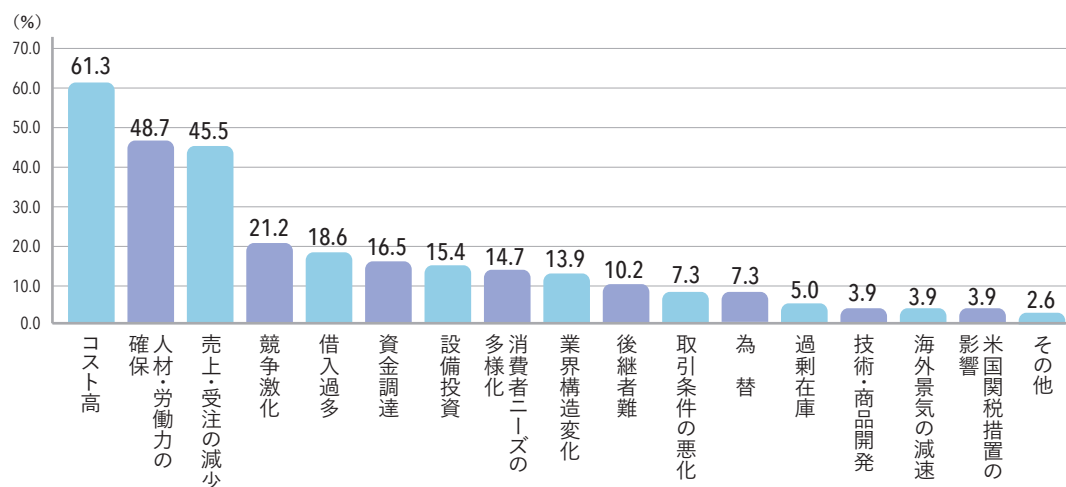


借入難易感 前回調査時に比べDI値は改善



当期(7-9月)のDI値は、前期(4-6月)に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」「借入難易感」全てにおいて改善しました。

次期(10-12月)のDI値は、当期(7-9月)に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」において改善し、「借入難易感」において悪化する見込みとなっています。

経営上の課題
(複数回答)

経営上の課題は、「コスト高」「人材・労働力の確保」「売上・受注の減少」が群を抜いて上位となっており、次いで、「競争激化」「借入過多」「資金調達」の順となっています。

景気動向調査にご協力いただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。今後も引き続き、ご協力いただきますようお願い申し上げます。ご回答いただいた結果を踏まえ、信用保証制度の適切な運営に取り組んでまいります。なお、調査内容の詳細につきましては、当協会のホームページにて公表しています。ホームページアドレス ▶ <https://www.hosyokyokai-hyogo.or.jp>

※ 構成比の数値は、小数点第2位を四捨五入したものです。そのため、個々の構成比の合計が100%にならない場合があります。



data

淡陽信用組合 湊支店

〒656-0332 南あわじ市湊55-1

☎ 0799-36-2630

▲ 淡陽信用組合 湊支店
支店長 村上 正樹 様

question

1 貴店の歴史や地域の様子について教えてください

淡陽信用組合 湊支店は1958年6月に開設されました。当支店管轄エリアには、農業・酪農、漁業を営む事業者をはじめ、地場産業である淡路瓦の生産者が多いという特徴があります。開設以来、地域経済の発展への貢献をモットーに、地域の皆さまとの絆を深めて参りました。最近ではパソナグループの進出により海岸沿いに宿泊やレジャー施設が増えるなど活気にあふれており、当支店もさまざまなサポートをさせていただくために創意工夫に励んでいます。

question

2 地域とのつながりを大切にするために 取組んでいることを教えてください

鳴門の渦潮の世界遺産登録を目指して、紀淡海峡、明石海峡、鳴門海峡の「3海峡クリーンアップ大作戦」が実施されています。実施は年に1度ですが、この取組みに当支店も積極的に参加しています。また、当支店には地元出身の職員が多く、皆、地域の祭や消防団などの活動に積極的に参加しています。

question

3 保証協会の融資商品で実現できた企業支援、 経営サポートを教えてください

コロナ禍の頃、島外でIT系の事業をされている方が淡路島に魅せられて「宿泊施設付きプライベートサウナをオープンしたい」と、相談にいられました。その方は、オープンとともにご家族を伴って移住をして、新規の同事業に掛けておられました。当支店では、その思いに応えるために「事業再構築補助金」を活用することをお勧めしたところ、大変喜んでくださいました。プライベートサウナの経営が順調に進むなか、2025年6月、「プライベートサウナの近くにある古民家を借りて大規模リノベーションをして新たな宿泊施設にしたい」と、再度、相談にいられました。当支店は「協調支援型特別保証制度」をご紹介し、無事、融資が実行され、開業に向けてリノベーションが始まりました。古民家は、夕陽が見える絶景ポイントにあり、年内オープンを目標に工事が進んでいます。

村上支店長

「イチ推し! 職員」



2022年、新卒で入組
し、現在、渉外係の若
手として頑張っている
濱田 哲平さんを紹介
します。

洲本市の出身で、地元で貢献できる仕事に就きたいと考えて淡陽信用組合に就職しました。もともと人と関わることが好きで、お客様とコミュニケーションをとることが楽しいと感じています。昨年、ローン係の委員長を務め、個人だけでなく支店の目標を達成することができました。委員長として先輩に指示を出すなど初めてのことも多く緊張しましたが、支店全体の数字を意識できるようになったことは大きな成果です。また、仕事に全力で取り組むためにバレーボールで汗を流すようにしています。練習は平日週3回、夜8時から、週末には試合があるなど忙しいですが、仕事と趣味を両立させて充実した毎日を過ごしています。これから「濱田君に相談すれば安心」と言っていただく存在になれるように頑張りたいと思います。

湊支店
濱田 哲平 様



私たちのふるさと 兵庫の誇り 赤穂市・宍粟市・佐用町 編

ケヤキ、カエデの紅葉が見事なハイキングロード

赤西溪谷



© しろう森林王国観光協会提供

一年を通じて自然の美しさを満喫できる溪谷です。特に、秋のケヤキ、カエデが紅葉する様子は見事。落葉の頃には、紅葉の落ち葉で川面が赤く染まったように見えるほどです。



400年前の風情を今に伝える

平福

因幡街道で随一の賑わいを見せた宿場町です。旧街道沿いには土蔵、千本格子、なまこ壁の屋敷などが軒を連ねて、かつての風情を今に伝えています。宮本武蔵が有馬喜兵衛に、初めての決闘を挑んだ所と伝えられている場所も遺っています。



13年以上の歳月をかけて築城された

赤穂城

1645年、常陸国笠間から入封した浅野長直が、近藤三郎左衛門正純に築城設計を依頼して1661年に完成しました。城郭の縄張り、甲州流軍学に基づいています。



のんびり散歩をするだけでも癒やされる

赤穂きらきら坂

日の光を受けてきらきら輝く赤穂御崎に臨む坂道です。近くには「恋人の聖地」「伊和都比売神社」「大石名残の松」「たまた岩」などの見どころも多数。人気の観光スポットです。

春は桜、秋は紅葉が美しい

音水湖



© しろう森林王国観光協会提供

山間の緑深いなかにあり、湖畔ではサイクリングや散歩が楽しめる県営「引原ダム」の人工湖です。ダム湖ではカヌー体験も。特に春は桜、秋は紅葉が美しい、人気の観光スポットでもあります。



山上にそびえる雲を衝くような城

利神城

南北朝期、赤松一族の別所敦範が1349年に築城しました。利神山の山上にそびえる三層の楼閣が、雲を衝くように見えることから「雲突城」と呼ばれました。

ひょうご



兵庫県の風景を描いた芸術作品と作者を紹介する「ひょうご・芸術散歩」。今回は、山間の湖を描いた「西播磨(宍粟郡) 秋の音水湖」と、作者の別荘 博資画伯を紹介します。

秋の気配と山間の澄んだ空気までも伝える 「西播磨(宍粟郡) 秋の音水湖」



「西播磨(宍粟郡) 秋の音水湖」1960年 神戸ゆかりの美術館蔵

別荘 博資画伯は、大らかな筆づかいと繊細な色彩で、兵庫の風景を描き続けた水彩画家です。1950年から60年代、別荘画伯は宍粟をしばしば訪れて、谷間の風景や農村の様子を作品に残しています。同作品は、スッキリと晴れた秋空のもと紅葉が始まりつつある様子と、澄んだ空気までも感じさせる作品です。別荘画伯の風景画には、そこで暮らす人々への敬意と、そこに流れる時間を慈しむかのような温かな眼差しが漂っています。同作品は、山間の自然とともに静かに暮らす人々への敬意が感じられる素晴らしい作品です。

別荘 博資

べっしゃ・ひろすけ
1900年～1976年

兵庫県神戸市出身。水彩画家。兵庫県工業学校(現・兵庫工業高等学校)機械科卒業後、同校機械科実習教員として勤務しながら油彩、水彩画の独習を始めた。大阪の信濃橋洋画研究所に学び、兵庫の風景を描き続けた。



軽量、高い耐久性、扱いやすさを兼ね備えた 強化ダンボール「リボード」で、新境地を開拓。

》》 メガバンクに就職し、バブル景気と崩壊を経験

株式会社カワグチマック工業は、ダンボールケースの企画、製造、販売をはじめ、梱包、倉庫内作業の請負業務などを担う56年の歴史を持つ企業だ。代表を務めるのは川口 徹さん。川口さんが、創業者である父から家業を受け継いだのは2010年のことだった。

川口さんが同社に入社したのは1996年のこと。それまでは約10年間、メガバンクに勤務していた。大学卒業後、家業を継がずに金融機関に就職をしたことについて川口さんは、「できるだけ世間の浮き沈みに左右されない手堅い仕事に就きたいと考えたからです」と語る。

念願の金融機関への就職を果たし、融資担当になった。「どこへでも行きます。何でもします」という姿勢で仕事に取り組み、融資先の経営陣と真剣に向き合い、やりがいを感じる日々を過ごした。仕事を通じて、世間にはさまざまな企業があり、業績は右肩上がりでも事態は急変することも多いことも知った。そんな川口さんが家業を継ぐべく退社を決意したのはなぜだろう。

「妻が妊娠し、臨月の大変なときに転勤の辞令があり、仕方なく単身赴任をしました。いざというときは駆けつける気持ちはありましたが実際には不可能で、妻は産気づいてから一人で車を運転して病院に行ったそうです。この知らせを受けて、この仕事は続けられないと思いました。ちょうどその頃、経理を担当していた母が体調を崩してしまい、両親を助けなければいけない時期が来たのかもしれないと思いました」。

》》 大手企業の仕事を失い、大英断

入社後、前職での経験を活かして経理業務を担当。ほどなく父に代わって金融機関との交渉も引き受けた。業績は順調に伸び、ダンボールをカットする大型機械を導入し、外注費の削減にも取り組んだ。その直後の2008年、事態は一気に暗転する。

「弊社の社員を多数、派遣して業務を請け負う請負事業の入札で負けてしまい、仕事がなくなりました」。

取り引き先は大手企業だった。一瞬にして一番の太客

を失った。仕事はない。社員はいる。次の仕事のメドは立っていない。さあ、どうする？

「父が、『自分がなんとかする』と言いましたが、当時、父は75歳で、父が懇意にしていた担当者は、すでに現場にはいません。もう自分が立っていきしかないと腹をくくり、決断しました」。

川口さんの決断は2つ。「社員を解雇しない」と「二代目社長就任」だ。二代目として請負業担当社員の派遣先を探した。思うように行かないことが多かった。だが、「すべて自分で決めたこと」と粘った。心が折れそうになっても粘り続け、すべての派遣先が決まったときに確信を持った。

「人のせい、社会のせいにしても何も変わらない。どんなことも自分で決めて、やり抜くことが大事」。

》》 暗雲立ちこめる中「リボード」との出会いで光が差す

そんな川口さんに、2010年、一条の光が差す。その光とは「リボード」との出会いだった。「リボード」は、店舗什器用にスウェーデンで開発された強化ダンボールで、従来の強化ダンボールとは一線を画すほどの耐久性がある。「リボードの取り扱いを始める以前も、強化ダンボールを使ったキャットタワーを独自で開発し、大手ECサイトで販売をしていました。これが人気YouTuberやタレントの目にとまり、愛猫用に購入して組み立てる動画をアップしていました。社員が動画を見つけて、皆で嬉しそうにしている姿を見て、ダンボールを梱包以外の素材として扱うことで、社員のやる気を高めることができるのではないかと思います」。

この予感当たった。展示会でキャットタワーを紹介したところウォルトディズニージャパンからコラボ依頼が舞い込み、映画に登場するお城や馬車型のキャットタワーが誕生した。

「リボードは、木やプラスチックの代替素材として使用できる強度があるため、『紙建材』の別称を持っています。子供用のイスを製作して強度実験を行ったところ、520kgの負荷で少しシワができた程度でした」。

川口さんと社員はアイデアを出し合い、リボードで事務

株式会社カワグチマック工業

代表取締役
川口 徹 氏

〒660-0833
尼崎市南初島町12-9
☎ 06-6488-6312



所に設置するリモートワーク用ブースを開発。大手ECサイトで販売すると同時に、企業の展示会用のディスプレイや放送局のスタジオ装飾、店舗装飾などの請負業をスタートさせたところ業績は順調に伸びた。

「目下の課題は、リボードの特性を活かしたもののづくりの力を高めることにあります。そのためにデザインやものづくりができる若手社員を採用したところ、社内が活気づ

いてきたように感じます」。

約5年間、同社は日本のリボード取り扱い実績のトップを走り続けている。足取りは軽く、心は強く。何があってもくじけない。同社の挑戦は止まらない。

融資活用コラム

信用保証協会を利用して 運転資金を確保しました。

2024年5月、兵庫県融資制度「伴走型経営支援特別貸付」を利用して運転資金を確保しました。前職で融資を担当し「決算書の数字は良くても、展望のない会社には希望がない」と感じていました。弊社は「リボード」のお陰で、社員が一丸となって前を向くことができていると感じます。



わが社の とっておき

「リボード」の用途として特に好評なのは、展示会でのディスプレイの造作です。木やその他の素材でディスプレイを造作して、毎年、新しく造るというのが一般的ですが、「リボード」なら何年も繰り返して使用できます。初期投資はほぼ同じでも、繰り返し使うことでコスト削減と環境配慮の実現が可能です。



(単位：件、百万円、%)

	当 月 中				当 期 中			
	件 数	前 年 比	金 額	前 年 比	件 数	前 年 比	金 額	前 年 比
保 証 申 込	2,333	118.8	40,231	121.0	12,305	94.3	202,664	85.7
保 証 承 諾	2,201	117.9	36,895	118.4	11,449	92.0	186,149	84.2
保証債務残高	—	—	—	—	125,066	100.5	1,616,568	95.4
代位弁済(元利)	220	106.3	2,468	124.5	1,120	99.0	13,780	113.4
実際回収(元損)	—	—	589	127.0	—	—	4,238	138.8

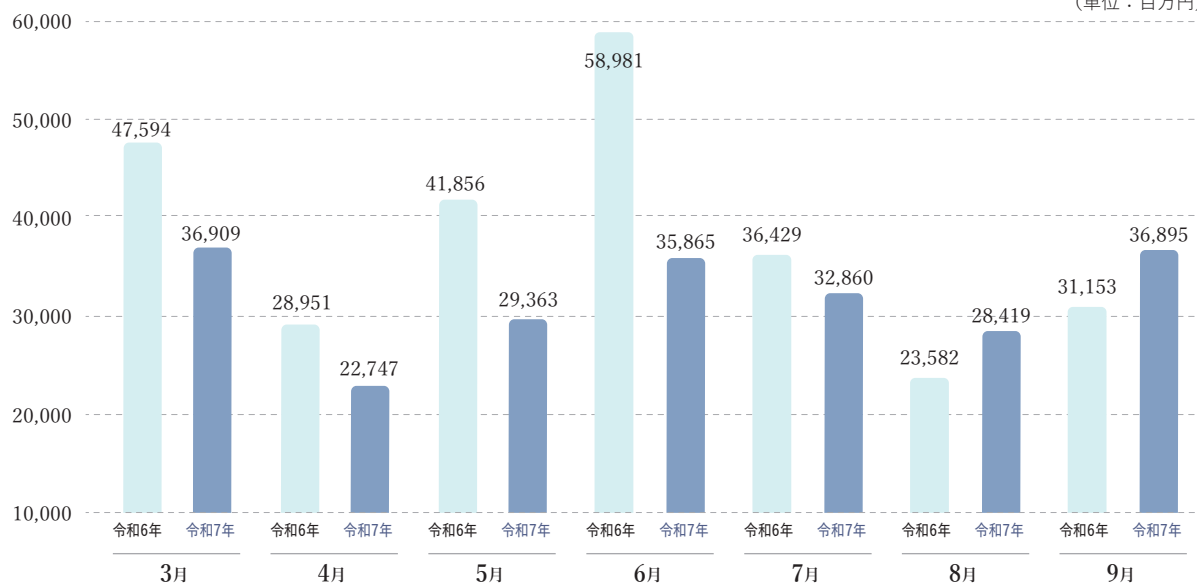
1 保証承諾

9月の保証承諾は2,201件(前年同月比17.9%増)、36,895百万円(同18.4%増)となり、前年同月と比べ、件数で334件、金額で5,742百万円上回った。

また、保証申込は2,333件(同18.8%増)、40,231百万円(同21.0%増)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに上回った。

保証承諾(前年比較)

(単位：百万円)



資金使途別

9月の保証承諾のうち、運転資金は35,328百万円(前年同月比20.0%増)となり、前年同月と比べ上回り、設備資金は505百万円(同30.4%減)となり、前年同月と比べ下回った。

業 種 別

9月の業種別保証承諾の状況は、飲食店1,120百万円(前年同月比49.8%増)、不動産業1,961百万円(同29.7%増)、運送・倉庫業1,800百万円(同26.9%増)、製造業4,953百万円(同24.8%増)、建設業11,214百万円(同19.3%増)、サービス業5,615百万円(同17.9%増)、小売業4,742百万円(同10.2%増)、卸売業5,258百万円(同8.9%増)等で前年同月を上回った。

金融機関群別

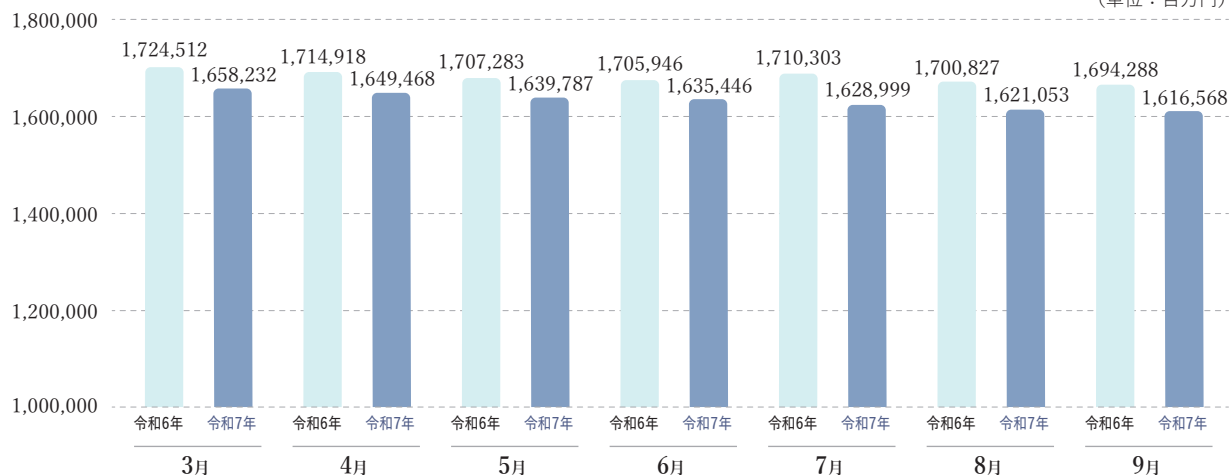
9月の金融機関群別保証承諾の状況は、地方銀行2,701百万円(前年同月比32.5%増)、信用組合3,806百万円(同24.4%増)、信用金庫24,733百万円(同23.5%増)で前年同月を上回り、第二地方銀行5,122百万円(同4.3%減)、都市銀行533百万円(同16.8%減)で前年同月を下回った。

2 保証債務残高

9月末の保証債務残高は、125,066件(前年同月比0.5%増)、1,616,568百万円(同4.6%減)となり、前年同月と比べ、件数は上回り、金額は下回った。

保証債務残高(前年比較)

(単位:百万円)



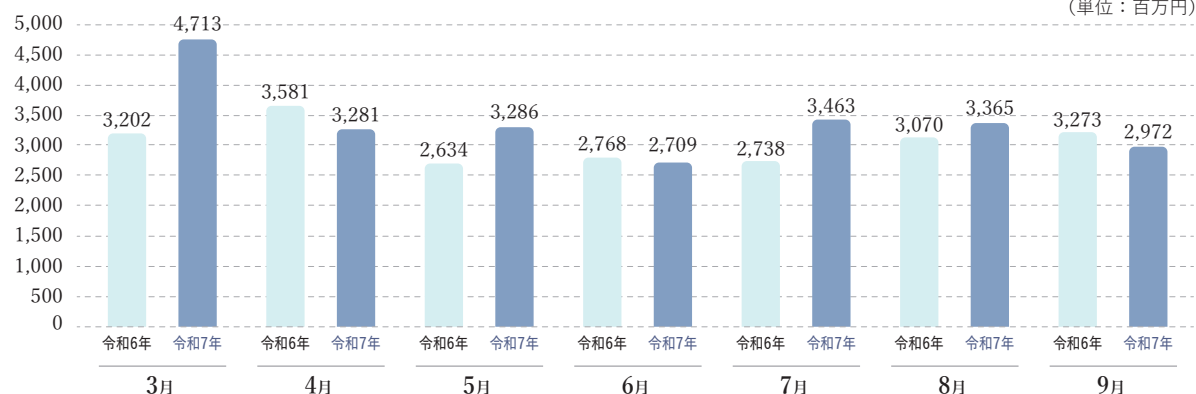
3 事故報告

9月の事故報告受付は、269件(前年同月比3.2%減)、2,972百万円(同9.2%減)となり、前年同月と比べ、件数は9件減少し、金額は301百万円の減少となった。

事故報告残高については、9月末で1,274件(同9.3%増)、14,701百万円(同12.0%増)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに上回った。

事故報告受付(前年比較)

(単位:百万円)



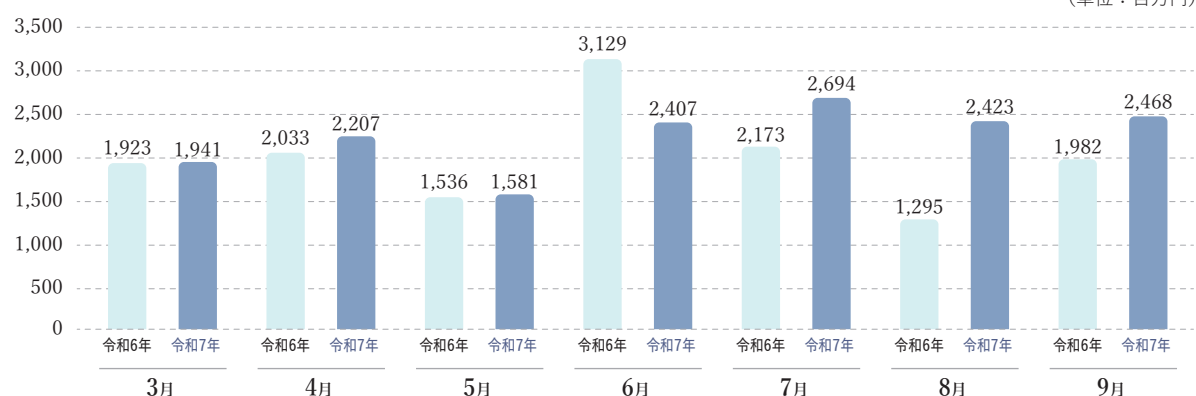
4 代位弁済

(元利)

9月の代位弁済は、220件(前年同月比6.3%増)、2,468百万円(同24.5%増)となり、前年同月と比べ、件数は13件増加し、金額は486百万円の増加となった。

代位弁済(前年比較)

(単位:百万円)



信用保証をご利用できる方

以下①～④のいずれにも該当している事業者の方が信用保証をご利用できます。

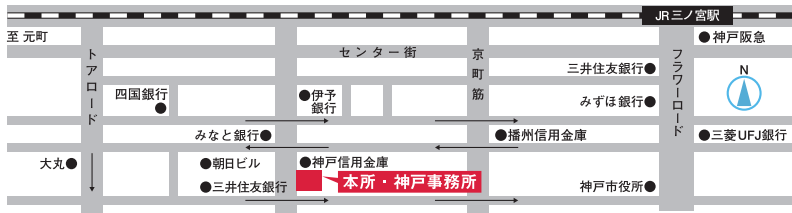
- ① 資本金または従業員数のいずれかが、右表の企業基準に該当していること。
特定非営利活動法人(NPO法人)の場合は、従業員数(製造業等:300人以下、卸売業・サービス業:100人以下、小売業・飲食業:50人以下)が該当していること。
- ② 個人の場合は、兵庫県内に住居、事務所または営業所を有し、事業を営んでいること。
法人の場合は、兵庫県内に本店または事業所を有し、事業を営んでいること。
- ③ 許認可等を必要とする事業の場合は、当該事業に係る許認可等を申込人名義で受けていること。
- ④ 事業上必要とする運転資金または設備資金であること。

業種・営業形態などにより、ご利用いただけない場合もございます。
詳しくは、当協会窓口までお問い合わせください。

兵庫県信用保証協会のネットワーク

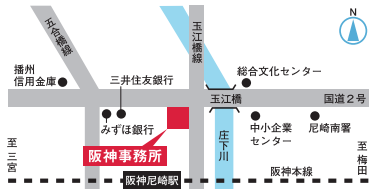
本所・神戸事務所

〒651-0195 神戸市中央区浪花町62-1
本 所：TEL 078-393-3900(代表)
神戸事務所：TEL 078-393-3909 [担当地域]神戸市



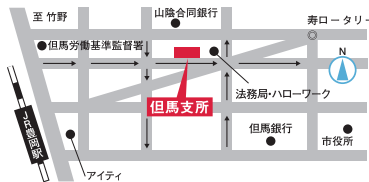
阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通3-96 尼崎商工会議所会館3F
TEL 06-6411-4133(代表)
[担当地域] 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡



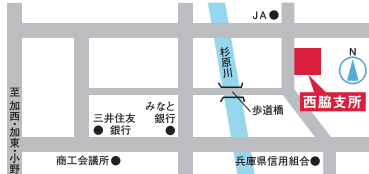
但馬支所

〒668-0024 豊岡市寿町8-7
TEL 0796-22-5171
[担当地域] 豊岡市、養父市、朝来市、美方郡



西脇支所

〒677-0015 西脇市西脇885-27
TEL 0795-22-6775
[担当地域] 西脇市、三木市、小野市、加西市、丹波篠山市、丹波市、加東市、多可郡



暴力団等の反社会的勢力とは取引いたしません。
第三者が介入・介入する申込はお断りします。

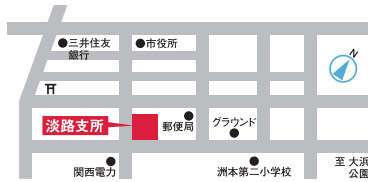
姫路事務所

〒670-0965 姫路市東延末3-27-2
TEL 079-289-3611
[担当地域] 姫路市、相生市、赤穂市、粟粟市、たつの市、神崎郡、揖保郡、赤穂郡、佐用郡



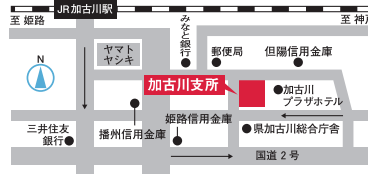
淡路支所

〒656-0025 洲本市本町3-1-8
TEL 0799-22-4493
[担当地域] 洲本市、南あわじ市、淡路市



加古川支所

〒675-0064 加古川市加古川町溝之口788
TEL 079-424-1105
[担当地域] 明石市、加古川市、高砂市、加古郡



業 種	資本金	従業員数
製造業等 ※1	3億円以下	300人以下
ゴム製品製造業 ※2	3億円以下	900人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業・飲食業	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
ソフトウェア業 情報処理サービス業 旅館業	3億円以下 5,000万円以下	300人以下 200人以下
医療法人等	—	300人以下

※1 建設業、運送業、不動産業、旅行業を含みます。

※2 自動車または航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除きます。

国家戦略特区において商工業とともに農業を営む方も信用保証をご利用いただけます。

お客様総合相談室

本 所	大 瀧 室 長	TEL 078-393-3905
-----	---------	------------------

本所・事務所・支所のお客様総合相談窓口

本 所 経 営 支 援 部	岩 永 副 部 長	TEL 078-393-3920
神戸事務所	三 宅 副 所 長 (保証相談一課、二課、三課)	TEL 078-393-3909
	佐 藤 副 所 長 (調整相談一課、二課)	TEL 078-393-3915
阪神事務所	按 田 副 所 長	TEL 06-6411-4133
姫路事務所	中 元 副 所 長	TEL 079-289-3611
但馬支所	岩 崎 次 長	TEL 0796-22-5171
淡路支所	岩 川 次 長	TEL 0799-22-4493
西脇支所	兼 田 次 長	TEL 0795-22-6775
加古川支所	松 田 副 所 長	TEL 079-424-1105

代位弁済後のご返済等に関する お客様総合相談窓口

管 理 部	岡 本 副 部 長	TEL 078-393-3914
-------	-----------	------------------

(上記担当者が不在の場合は、代理の者が対応させていただきます)

● 事業承継をお考えの皆さまへ

事業承継相談窓口 ☎ 078-393-3962
(経営支援部 再生発展支援課内)

● 女性企業家の皆さまへ

女性企業家相談窓口 ☎ 078-393-3910
(経営支援部 再生発展支援課内)

● これから事業を開始する皆さまへ

創業準備相談窓口 ☎ 078-393-3912
(経営支援部 再生発展支援課内)

● 事業経営全般に関する相談について

経営サポート相談窓口 ☎ 078-393-3969
(経営支援部 再生発展支援課内)

保証時報の送付について

ご希望の方に保証時報を毎月送付いたします(送料は当協会が負担)。ご希望の方は総務企画部企画調整課(☎ 078-393-3922)までお申し出ください。

当協会はサンテレビの情報番組「あんてなサン」の番組スポンサーをしています



あんてなサン (サンテレビ)
毎週日曜日/22時~22時30分放送